はじめに

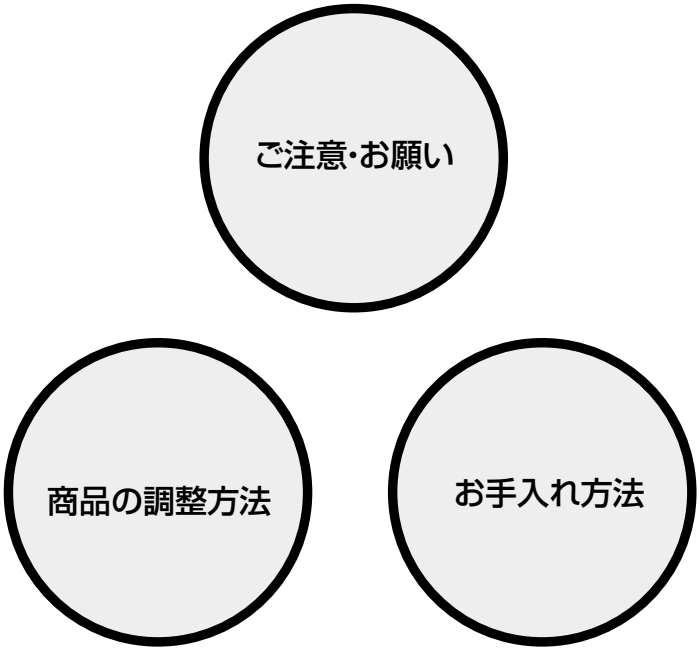
このたびは、トステム商品をご採用いただき誠にありがとうございます。

本書は、商品をながく安全にお使いいただくための、主なご注意・お願い及び商品の調整・お手入れ方法などをまとめたものです。

本書をよくお読みいただいた上で、トステム商品をご使用いただきますようお願いいたします。

なお、電動商品等の特別な機能を有している商品や特有な操作方法がある商品については、別途、個別の取扱い説明書がありますので、併せてご覧ください。

本書の構成上の3つのポイント



第1章 安全にお使いいただくために

商品をご使用いただく上で、人身事故や財産の損害を未然に防止するために、守っていただきたいこととして下記のような警告表示をしています。内容をよくご理解の上、商品をご使用ください。

警告用語の種類と意味

警告用語	意　味
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。 商品毎の冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障につながる場合があります。

17. 玄関ドア

お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ず把手を持って操作してください。把手から手を離したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 小さなお子様が出入りする時は、親が付き添って開閉するようにしてください。風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。
- 錠がかかりにくい等の異常が発生した場合は、施工業者にご相談ください。そのままで使用し続けると、錠が破損するおそれがあります。

ドア部品名称

1.ドアガード、ガードロック
・訪問者確認用であり、錠ではありません。

2.セキュリティサムターン
・万一ガラスを割られて外から手を入れられてもつまみがないため鍵が開けられないシステムです。
（シリンダー錠または下シリンダー鍵の室内側）
※商品によっては、つかない場合もあります。

3.ドアクローザ
・ドアをゆっくり閉じる働きをします。

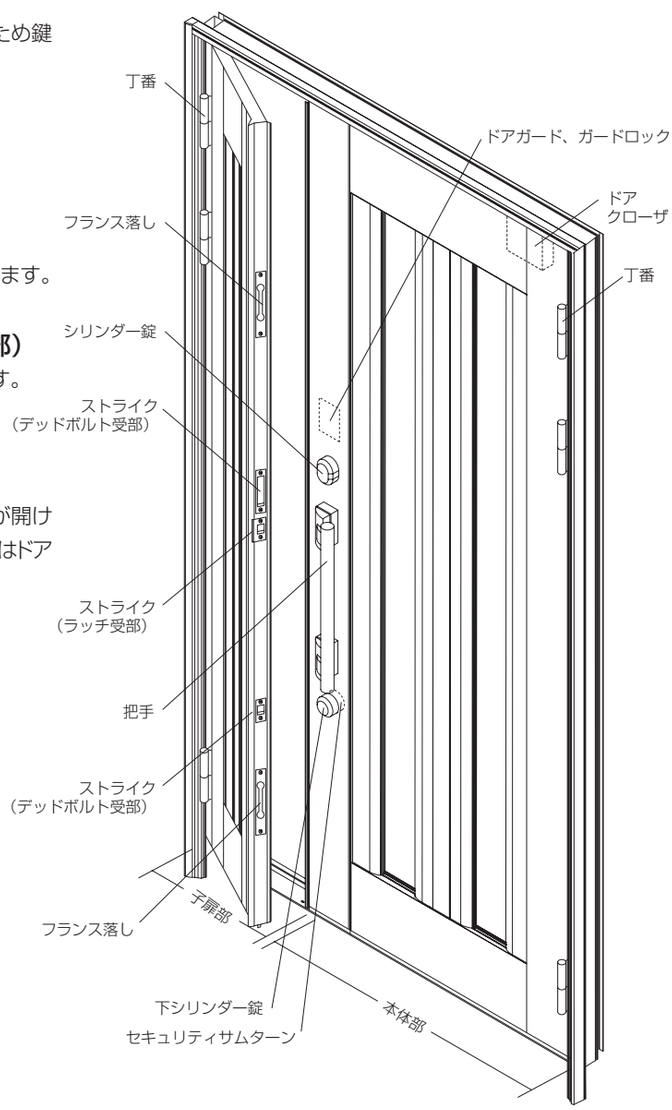
4.把手（ハンドル）
・把手にはいろいろなタイプがあり、それぞれ操作方法が異なります。
P.31を参照してください。

5.ストライク（ラッチ受部）、ストライク（デッドボルト受部）
・ドアを閉める際や、施錠した際に出る金属の棒を受ける金具です。

6.フランス落し
・子扉を固定する金具です。

7.シリンダー錠・下シリンダー錠（ツーロック）
・ひとつのキーで、外からシリンダー錠、下シリンダー錠の両方が開け閉めできます。外出、就寝時は施錠してください。風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。

8.丁番
・ドア本体や子扉を枠に吊込む金具です。



※絵は親子ドアのランマ無しタイプです。

ドア部品の操作･調整方法

1ドアガード、ガードロックの操作　※商品によって装備されているものが異なります。

☆ガードロックやドアガードは在宅時の「訪問者確認用」であり、錠ではありません。
就寝時等には防犯の為必ず施錠していただくようお願いします。

お願い

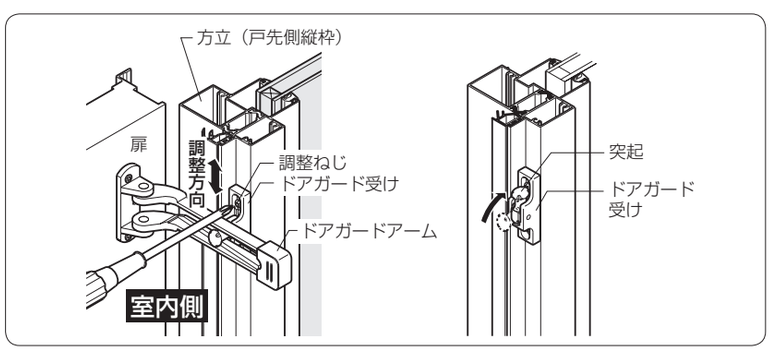
- ドアガード操作時は、ドアガードアームの溝部に指を入れないでください。
- ドアガード操作時は、ドアガードアームに体を近づけないでください。体をぶつけるおそれがあります。
- ガードロック操作時は、ガードロックアームに指を近づけないでください。はさむおそれがあります。

●ドアガードの操作（半開ストップ機能付き）　※商品によっては半開ストップ機能が付いていない場合もあります。

かけ方　ドアガード受けの突起を倒し、ドアガードアームを受け側へ回転させてください。

外し方　ドアガードアームを受け側と反対に回転させ、受けの突起を元に戻してください。

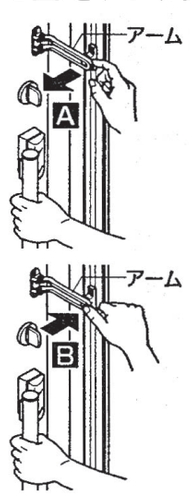
ドアガード受けの上下の調整方法　ドアガードアームとドアガード受けの上下の位置が合わない場合、調整ねじを緩め、ドアガード受けを調整してください。調整後は確実にねじをしめてください。



表示ラベル例

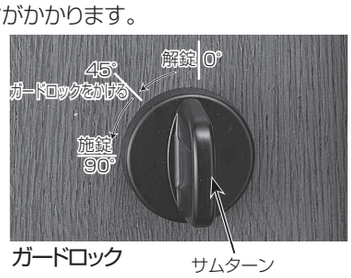
【通風のためドアガードを固定する場合】

- アームの先を🅰方向に押すと固定されます。
- 固定を外す場合は、アームの先を🅱方向に押してください。

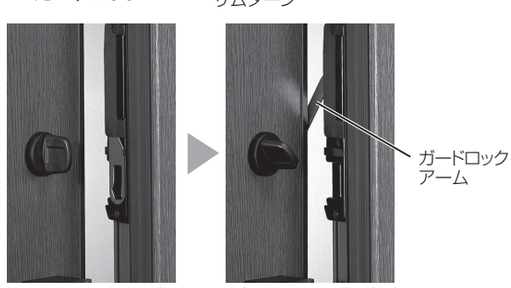


●ガードロックの操作

サムターンを45°回すと、ガードロックが作動し、90°回すとメインロックがかかります。



ガードロック　サムターン



ガードロック未作動時　ガードロック作動時

❷セキュリティサムターンの操作　※商品によって装備されているものが異なります。

☆セキュリティサムターンは、施錠後外すことにより、防犯性を高めることができます。

■玄関用例

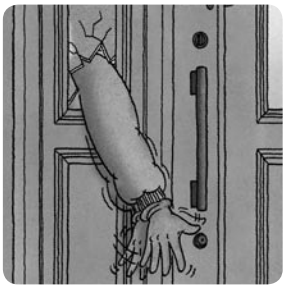
サムターンが装着されている状態
（通常時）

アンビィTX·ポルトNX用

シリンダー下部のボタンを押すだけでサムターンを取外せます

サムターンを取外した状態

セキュリティサムターンを取外し後、鍵をかけて外出。



泥棒がドアのガラスを破壊してもサムターンがないため解錠できません。

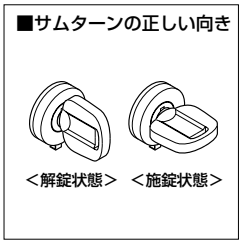
※商品によっては、施解錠の表示がある場合があります。

緑色：施錠状態
赤色：解錠状態

操作上のお願い

●施解錠の操作時以外は、セキュリティサムターンを必ず抜いてください。
●セキュリティサムターンの抜き差しは、必ず下部のボタンを押したまま行なってください。押さずに抜き差しをすると、錠本体などが破損するおそれがあります。

●セキュリティサムターンを外した後、室外側のカギで施解錠を行うとサムターンの施解錠の向きが変わります。
その場合は必ずセキュリティサムターンを外した状態で室外側のカギで施解錠の操作を行い、サムターンの施解錠の向きを元に戻してください。
セキュリティサムターンの施解錠の向きが変わったまま使用を続けると、サムターンの抜き差しができなくなることがあります。



■勝手口用例

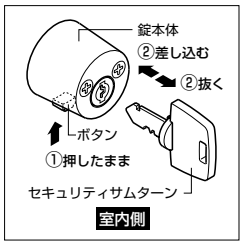
サムターンが装着されている状態

シリンダー下部のボタンを押すだけでサムターンを取外せます。

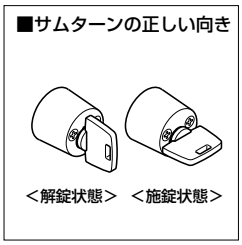
サムターンを取外した状態

操作上のお願い

●施解錠の操作時以外は、セキュリティサムターンを必ず抜いてください。
●セキュリティサムターンの抜き差しは、必ず下部のボタンを押したまま行なってください。押さずに抜き差しすると、錠本体などが破損するおそれがあります。



●セキュリティサムターンを外した後、室外側のカギで施解錠を行うとサムターンの施解錠の向きが変わります。
その場合は必ずセキュリティサムターンを外した状態で室外側のカギで施解錠の操作を行い、サムターンの施解錠の向きを元に戻してください。
セキュリティサムターンの施解錠の向きが変わったまま使用を続けると、サムターンの抜き差しができなくなることがあります。



3ドアクローザの調整

⚠注　意

●各種取付けねじは、必ず締付けてください。締付けがゆるいと落下・故障の原因になります。
※各種取付けねじは、(6)ネジ緩み箇所の点検を参照してください。

お願い

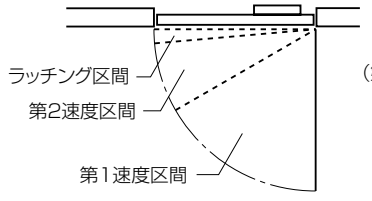
●閉じ速度は、早くしすぎないでください。指などをはさむおそれがあります。
●調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
●調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こすおそれがあります。

※ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、ドアクローザが破損し、人身事故などの原因になるおそれがあります。次のような不具合がないかどうかお手入れのときなどを利用して点検してください。

(現象)	(考えられる原因)	(点検箇所)	(対処方法)
ドアの閉じる速度が徐々に速く、または遅くなった	季節の温度変化など	速度調整ねじ	(1)閉じ速度の調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	施工された業者様に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れがつまっている	速度調整ねじ	(1)閉じ速度の調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ねじの緩み	取付ねじ	(6)ネジ緩み箇所の点検を参照願います
	油漏れ	ドアクローザ本体	施工された業者様に修理依頼願います
	ラッチング機構が強すぎる	ラッチングアクション調整ねじ	(2)ラッチングアクションの調整を参照願います
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付)	ストップつまみ(ねじ)の緩み	ストップ装置	(3)ストップ角度の設定と(4)ストップ角度の再設定を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった	ねじの緩み	取付ねじ	(6)ネジ緩み箇所の点検を参照願います
	1,2速のバランスが早い	速度調整ねじ	(1)閉じ速度の調整方法を参照願います
ドアが閉まりきらなくなったり気密材とのすき間ができるようになった	ドアの熱そり（P.49を参照してください）	ラッチングアクション調整ねじ	(2)ラッチングアクションの調整を参照願います

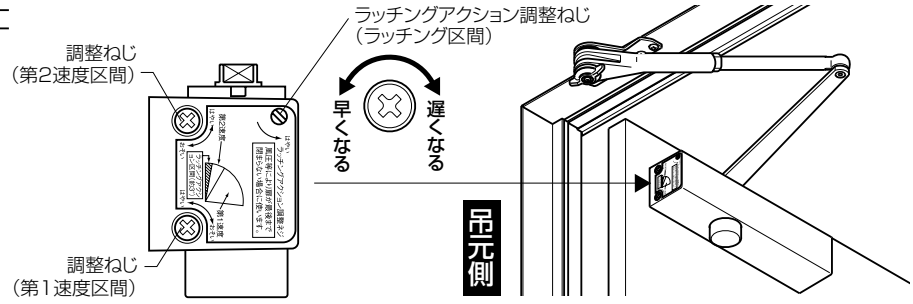
(1)閉じ速度の調整

①閉じ速度は、第1速度区間及び第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。



(2)ラッチングアクションの調整

●ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前(約3°)まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
●ラッチングアクション調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。
※ラッチングアクション調整ねじは左へ2回転以上回転させないでください。

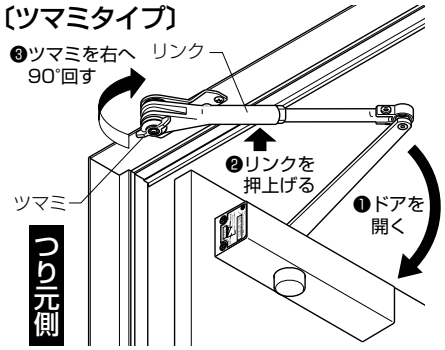


(3)ストップ角度の設定

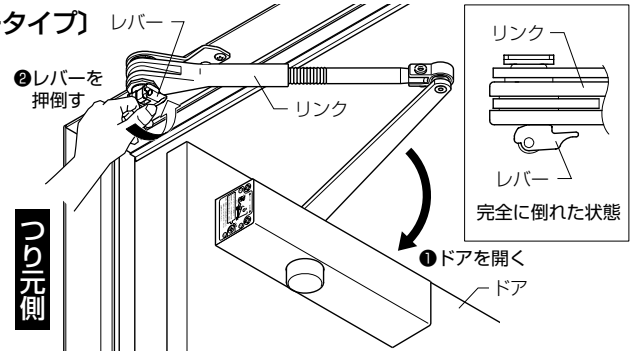
※商品によって装備されているものが異なります。
①ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
②開いた位置でのリンクの↑部を押し上げてください。
リンクが押しあがらない場合は、ドアを前後にゆすりながら押し上げてください。
③ツマミを必ず右へ90°回してください。ツマミが回らない場合は、ドアを前後にゆすりながらやり直してください。または、レバーを倒してください。

お願い
- **ツマミは必ず右へ90°回すようにしてください。**
  右へ90°回さないとストップ装置の故障の原因になります。
- レバーは完全に倒してください。

〔ツマミタイプ〕

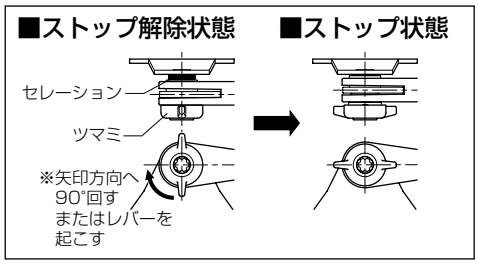


〔レバータイプ〕

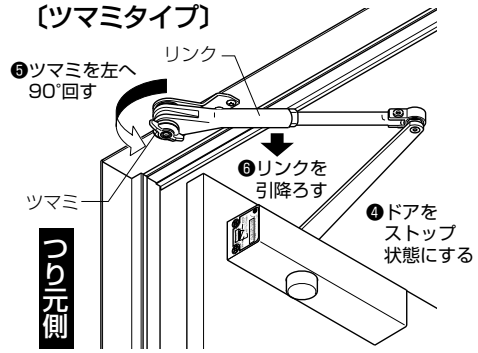


(4)ストップ角度の再設定

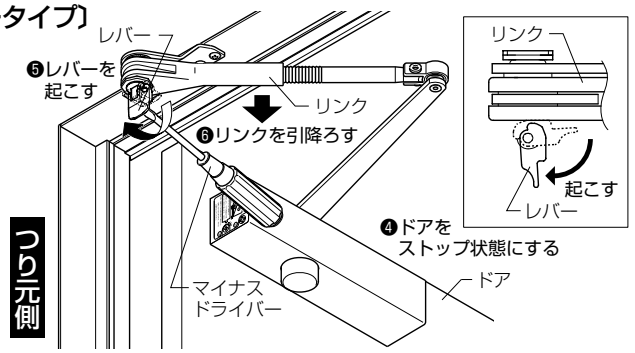
④ドアを開きストップ状態にしてください。
⑤ツマミを必ず左へ90°回してください。またはレバーを起こしてください。
⑥リンクの↓部をいっぱいに引き降ろすとストップ状態が解除され設定前の状態に戻ります。リンクが引き降ろしにくい場合はドアを開く方向に押しながらリンクを引き降ろしてください。
⑦再度、手順①～③にしたがってストップ角度の設定を行ってください。



〔ツマミタイプ〕



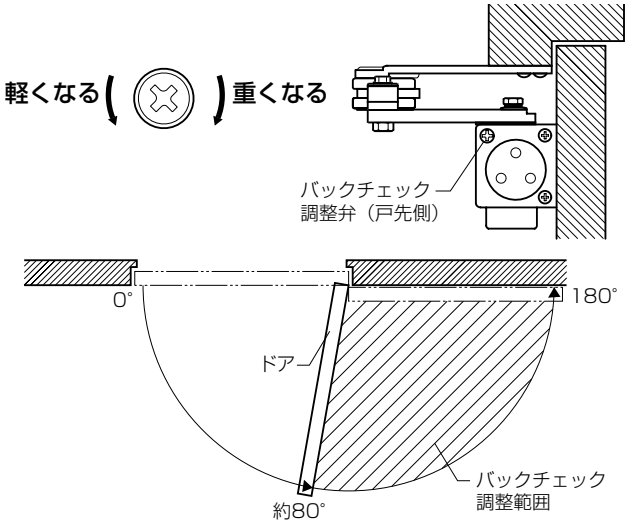
〔レバータイプ〕



(5)バックチェック強さの調整方法

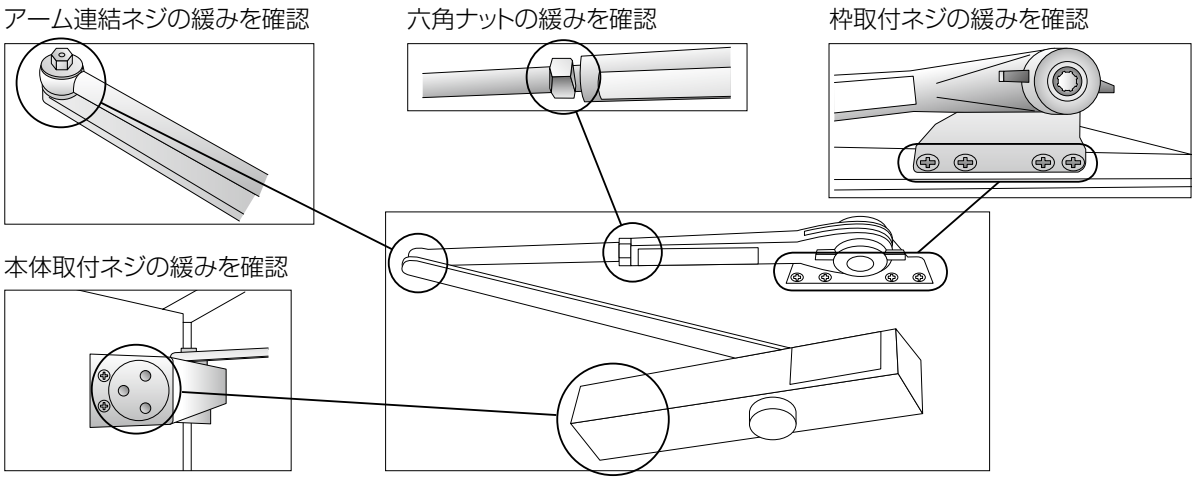
●強風等でドアが急激に開くのを緩和するためバックチェック機構がついています。開扉時、約80°からバックチェック機能がはたらき、ドアを開くのが重くなります。バックチェックの強さは調整弁にて調整してください。

お願い
- **バックチェック調整ねじは左右に1回転以上回転させないでください。**
  強くなる方向に1回転以上回してバックチェックを繰り返し使用するとドア本体、枠に力が加わり製品に変形がおきる場合があります。
  弱くなる方向に1回転以上回すと油モレを起こし、正常に機能しなくなるおそれがあります。



(6)ネジ緩み箇所の点検

各部のネジが緩んできた場合にはドライバーおよび、付属品のスパナで締め直してください。



4把手(ハンドル)の操作

☆鍵を紛失した時は、防犯の為、シリンダーの交換をおすすめします。

①**ノブハンドル**　ノブを左右に回して、ドアを開閉させてください。
②**レバーハンドル**　レバーを下に回して、ドアを開閉させてください。
③**バーハンドル**　把手(室外)を引き、把手(室内)を押してドアを開閉させてください。

①ノブハンドル

②レバーハンドル

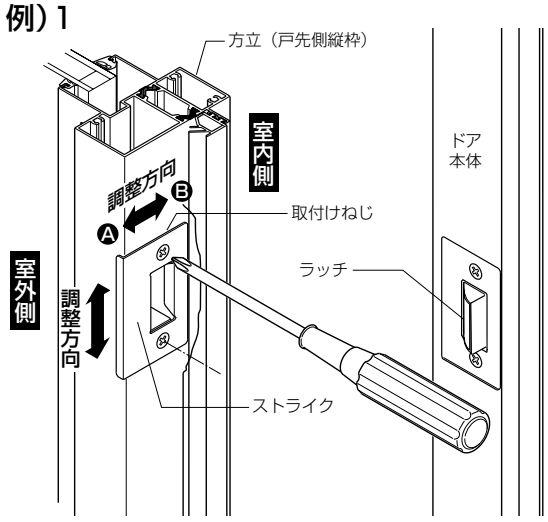
③バーハンドル

5ストライク(ラッチ受部、デッドボルト受部)　※商品によって装備されているものが異なります。

お願い
●ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロヨケが脱落し、取付けられなくなります。

●ドアのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじを緩め、ストライクの位置を調整してください。
調整後は確実にねじをしめてください。

例) 1

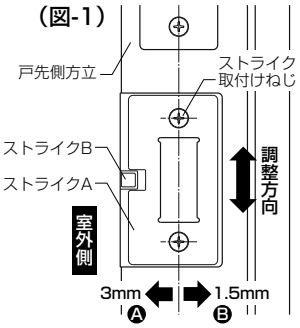


Ⓐ 方向：ラッチがかからない場合
Ⓑ 方向：ドア本体がガタツク場合

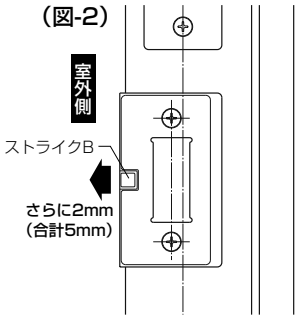
例) 2

①ストライク取付けねじをゆるめ、ストライクA(表板)を動かして調整してください。(図-1)室外側に3mm、室内側に1.5mm動きます。
②ストライクAで調整しきれない場合は、ストライクA･B(表板+裏板)ごと動かして調整してください。(図-2)さらに室外側へ2mm動きます。(合計5mm動きます)

(図-1)



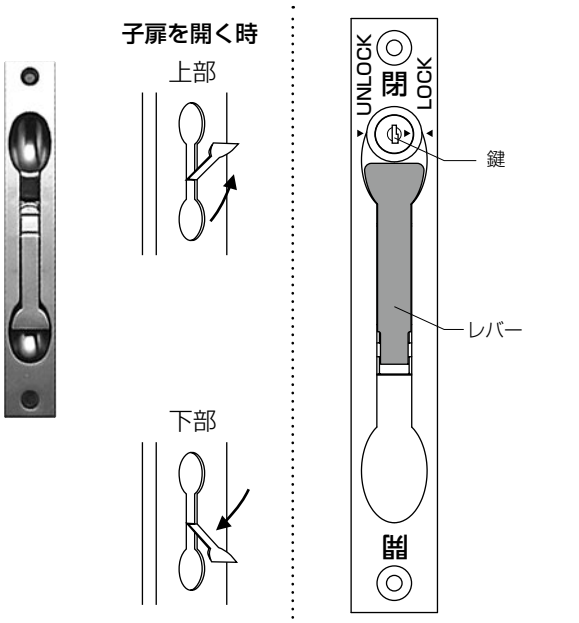
(図-2)



6フランス落しの操作

☆ロック付フランス落しの場合は防犯の為フランス落しをロックしていただくことをおすすめします。鍵を紛失した時は、防犯の為、フランス落しの交換をおすすめします。

●フランス落しの操作

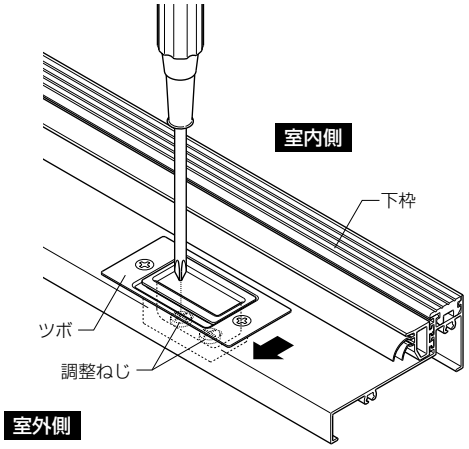


【ロックなしフランス落し】【ロック付きフランス落し】

※ドア本体を開いた状態でフランス落しの上下をともに開方向に操作すれば子扉が開閉できるようになります。
※ロック付きフランス落しは、下側フランス落しのみがロック付きとなります。
※フランス落しを閉める時は、子扉を室内側に押しながら操作してください。無理に操作すると破損する場合があります。

7ツボ（親子、両開きドアの場合）

※商品によって装備されているものが異なります。
●ツボのなかに砂、ほこり等がたまった場合は、清掃してください。
●調整機構付ツボの場合、子扉を室外側に調整できます。
①子扉を開けます。
②ツボ内部の調整ねじをゆるめ、位置を調整してください。室外側に3.5mmまで子扉が動きます。
※上枠･下枠共に調整できます。
※調整後は確実にねじをしめてください。



第4章 お手入れ方法（清掃方法）

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

1. アルミ製商品のお手入れ

お掃除はなるべくマメに

アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、それでも砂、ほこり、塩分などがついたまま長いあいだ放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受けて、腐食が発生する原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
②水でぬらした柔らかい布又はスポンジで全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、そのあと水洗いします。
③最後に、かたく絞った柔らかい布又はスポンジで全体を拭き取ります。

お手入れのご注意

●洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。
酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、及びアルコール以外の有機溶剤はアルミサッシやステンレスなどの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起こしますので、絶対に使用しないでください。
●お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
●表面の光沢やツヤが落ちてきた時には自動車用ワックス（研磨材の少ないもの）を使いメンテナンスを行ってください。
光沢やツヤが回復します。
①ホワイト色にはホワイト専用のワックスをお使いください。
②ブロンズ色にはホワイト以外のワックスをお使いください。
③ツヤ消しのアルミサッシには表面のツヤにムラができますのでワックスは使えません。
●マジックインクなどが附着した時にはアルコールで軽くこすって除去してください。

2.樹脂製商品のお手入れ

断熱商品には性能を高めるため、枠および障子が樹脂で作られているものがあります。
樹脂の中でも特に酸、アルカリに対して強い材質を選択していますが、長く快適に使用していただくために、
樹脂製商品に対して注意すべき点があります。

お掃除はなるべくマメに

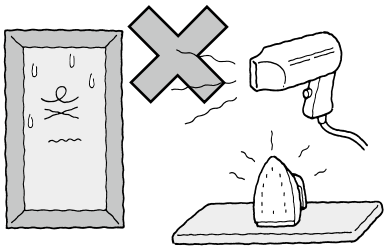
樹脂商品の場合、レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、傷の原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
②水でぬらした柔らかい布又はスポンジで全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤で汚れを落とし、そのあと水洗いします。
③最後に、かたく絞った柔らかい布又はスポンジで全体を拭き取ります。

お手入れのご注意

●洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。
酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品及びアルコール以外の有機溶剤は樹脂部材を溶かしたり、表面と塗装のはがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
●お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
●樹脂製品にストーブ、ドライヤー、アイロンなどを近づけたり、接触させないでください。
●マジックインクや塗料が附着すると落ちなくなりますのでご注意ください。



3.鋼板製商品（鏡板・雨戸パネル）のお手入れ

鋼板製商品は腐食に対する注意が必要です。そのため表面についた汚れは早めに落とすように心がけてください。

お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。
②水でぬらした柔らかい布又はスポンジで全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、そのあと水洗いします。
③最後に、柔らかい布又はスポンジで乾拭きしてください。

お手入れのご注意

●洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。
酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品及びアルコール以外の溶剤は表面材の腐食や表面塗装のはがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
●お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
●マジックインクや塗料が附着すると落ちなくなりますのでご注意ください。

4.鋼板ドア・引戸表面材のお手入れ

いつまでも美しくお使いいただくために、定期的にお手入れをおすすめします。

お手入れ方法

汚れを放置しておきますと落ちにくくなる場合があります。定期的にクリーニングを実施することをおすすめします。
特に下記地域ではお手入れの頻度を1ヶ月に1回程度おすすめします。
·沿岸地域（日本海側では沿岸から離れていても1ヶ月に1回程度のお手入れをおすすめします）
·凍結防止剤を使用している地域　·交通量の多い道路沿い

■鋼板製品の敵は、腐蝕

トステムの鋼板製品は、腐蝕に対して万全の備えをしています。しかし鋼板にはどうしても腐蝕に弱い性質があるため、表面についた汚れは早めに落とすように心がけてください。

■万一、サビが発生したら

目のこまかい紙ヤスリなどでサビを完全に落としたあと、市販のスプレー式透明ラッカーを吹きつけてください。

■お手入れ方法

①流水をかけながら柔らかい布を用いて汚れを洗い流してください。
※硬い布やブラシなどで強くこすると、ドア表面材に傷をつけてしまいますので、ご注意願います。
1）流水などで汚れが除去できない場合は、中性洗剤を5～10%程度に薄め、柔らかい布に十分含ませて、汚れ部の拭き取りをしてください。
2）中性洗剤でも汚れが除去できない場合は、換気扇·レンジの油汚れ用クリーナーを吹き付けて、2～3分放置してから拭き取りをしてください。
②柔らかい布で丁寧に水拭き仕上げをしてください。
※水拭き仕上げが不十分な場合、クリーナーに含まれる界面活性剤などにより、多少表面にムラが残る場合があります。
③柔らかい布で乾拭きして、水を拭き取れば理想的です。
※万が一、上記の場合で落ちない汚れは、タオルにエタノールを含ませて拭いてください。その際、エタノールが商品に付いた状態で放置しないで拭き取ってください。放置すると、シミや変色の原因になります。

■ドア表面の光沢がなくなった場合（グロスレッド·グレイスマホガニー·バーズアイメープル）

研磨剤が入っていないタイプの自動車用ワックスを柔らかい布に付けて磨いてください。

■ドア表面に浅い傷がついた場合

プラスチックみがき専用のコンパウンド（ソフトコンパウンド）で磨いてください。
①傷の原因となる砂、ホコリはあらかじめ水を含んだ柔らかい布で落として、きれいにしておいてください。
②綿の布にコンパウンドを少量つけてヘアーライン方向に直線的に磨いてください。
③別のきれいな布で良く拭きとってください。

お手入れのご注意

●洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。
酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品及びアルコール以外の溶剤は表面材の腐食や表面塗装のはがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
●お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
●マジックインクや塗料が附着すると落ちなくなりますのでご注意ください。

5.網戸のお手入れ

網戸もときどきお手入れし、きれいな状態でご使用ください。

お手入れ方法

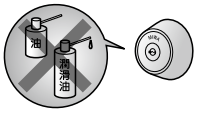
●網戸をはずし、室内側の面を下にして床に置き、柔らかい布又はスポンジ、ブラシなどで水洗いしてください。
油汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤をつけた柔らかい布またはスポンジで軽く拭いてください。

お手入れのご注意

●室内側の面を上にしたり、網戸をたてたまま洗うと、網が押されて緩んだり、破れたりするおそれがありますので、必ず室内側の面を下にして掃除してください。

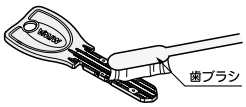
6.ドア・引戸用鍵のお手入れ

お手入れ方法



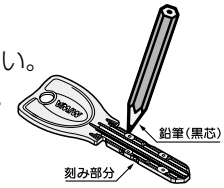
鍵穴の抜き差しがスムーズでない、または重い時、以下の手順でお手入れを行ってください。

①鍵穴のゴミやホコリを吐き出してください。
　鍵穴のゴミやホコリはパソコンのキーボード用のエアーダスター等を使用し、吐き出してください。
　掃除機で吸い出す方法もあります。



②キーの刻み部分や溝部の汚れ（ゴミやホコリ）を取り除きます。
　歯ブラシ等で、刻み部分や溝の汚れを掻き出してください。（定期的な清掃をお願いいたします。）

③鍵穴の抜き差しがスムーズでない、または重いとき。
　1）鍵のすべての刻み部分を鉛筆（先端の黒芯）でなぞるように黒く塗り、その鍵を鍵穴に挿入して
　　数回抜き差しをしてください。鍵の抜き差しがスムーズになります。
　　または、錠前専用の潤滑剤「DASZ020」あるいは、「3069」を鍵穴に0.5秒程度吹き付けてください。
　　吹きつけすぎると、かえって動作が悪くなる場合があります。（※）「DASZ020」と「3069」は同等品です。



　2）鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉または潤滑剤を布等でふき
　　取ってください。付着したまま使用されますと、衣服等を汚す場合があります。

お手入れのご注意

●鍵穴には油･CRCなどの液状の潤滑油は絶対に使用しないでください。ホコリが堆積し、すぐに作動不良になり故障の原因になります。当社指定の「鍵穴用パウダー潤滑剤（商品コード:DASZ020 価格¥1,300）」をお求めください。

DASZ020

3069

合鍵の発注方法

●お施主様がお持ちになる鍵のナンバー情報保護のため、合鍵は裏表紙記載のトステムパーツショップもしくはトステム部品修理ご相談センターに直接ご発注ください。

7.FRPドアのお手入れ

いつまでも美しくお使いいただくために、定期的なお手入れをおすすめします。

お手入れ方法

●汚れを放置しておきますと落ちにくくなる場合があります。2ヶ月に一度を目安に定期的なお手入れを行ってください。

①水でぬらしたぞうきんで全体を拭き、表面についたほこり、砂などを取り除いてください。

②特に汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落してください。
　酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品及びアルコール溶剤は表面塗装のはがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。

③そのあと洗剤がのこらないようによく拭きとってください。　④最後に全体をから拭きしてください。

お手入れのご注意

●洗剤は水で薄めた中性洗剤以外使用しないでください。　●柔らかい布をご使用ください。

キズがついた場合

●メンテナンス用部品 補修用タッチペンで補修してください。（別途有償品で設定しています。）

表面の再塗装

FRPドアは金属製のドアやアルミドアと比べ、耐食性に優れた性質をもっていますが、直射日光に長時間当たると紫外線劣化による塗装の色落ち･変色が起こる事があります。
さらに塗装面の劣化が進行するとFRP内部のガラス繊維が浮き出てきて表面がザラつきます。
そのような状態になる前に、約3～5年で、クリア塗料で上塗り塗装をしていただくことにより、長くきれいな状態でお使いいただけます。「ワシン屋外木部用水系塗料（艶消し透明仕上げ）。」を推奨しています。

●メンテナンスをしない場合の変化
　表面は塗装ですので、直射日光によって、色褪せが発生します。
　変色してしまって、再塗装される場合は、専門の塗装業者に依頼するか、弊社までお問合せください。
　塗布期間の目安については、設置環境や取付け状況により大きく異なります。

第5章 商品のご使用にあたって

1. 窓の結露について

■結露についての注意

結露が発生した場合は、床や壁の汚損防止、木部や壁の腐食防止の為に、こまめに拭き取ってください。
窓ガラスやサッシ部分の結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生します。したがって断熱サッシを使用しても室内外の条件によっては結露が発生する場合が有ります。
また、新しく建てた家は、木材などがまだ多く水分を含んでおり、室内にも多くの水蒸気を放出します。
その為、室内の湿度が高くなりやすく、窓などに結露が発生しやすくなります。

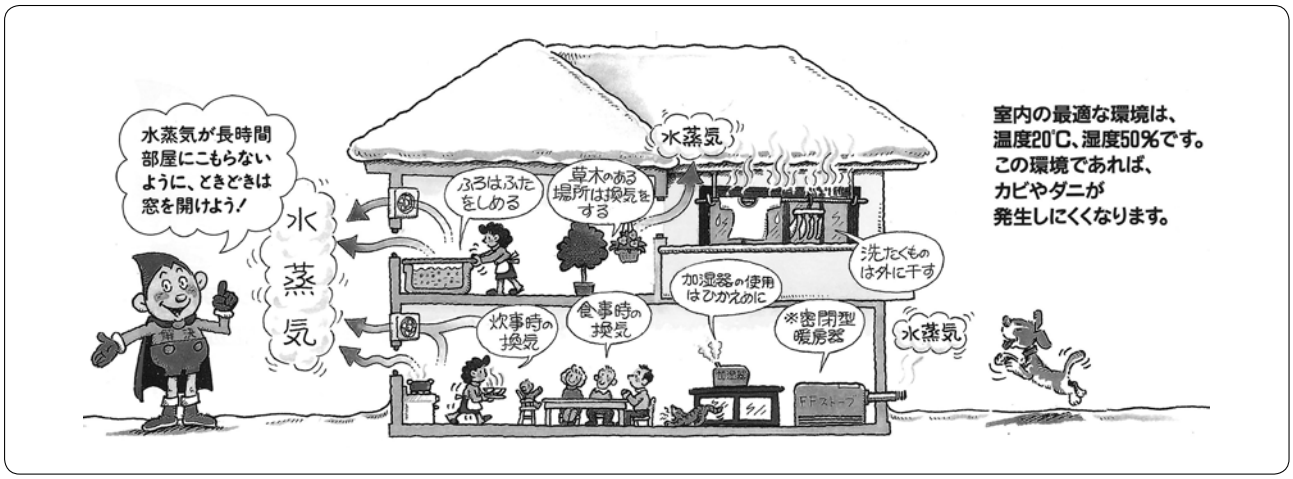
■結露を抑えるには

結露を抑える為には、低温部分を作らず、室内の湿度をできるだけ低くすることが大切です。
どちらか一方だけに気をつけても結露は防ぐ事はできません。

①低温部分を作らない為に
断熱材や、断熱型サッシを使用して壁や窓の表面温度をできるだけ室温に近づける事が大事です。
シャッターや雨戸がある場合にはこまめに閉めるように心がけましょう。
また、室温は適温に保つように心がけましょう。
（冬20℃～23℃、夏25℃～28℃）

②湿気を抑えるには
人が快適と感じる湿度は40～60%と言われています。この快適な湿度を保つ為にも水蒸気の発生を抑えましょう。具体的には以下の事に気を付けてください。

・室内で洗濯物を干さない
・浴室の入り口の戸を開け放しにしない。
・加湿器の使用は控えめに
・水蒸気の発生しない暖房器（エアコン、電気ストーブ）や密閉型の暖房機（FFストーブ）を使用する。
また、換気扇、窓を開けるなどして十分換気を行いましょう。湿った空気を外に出す事で室内の湿度はぐっと下がります。



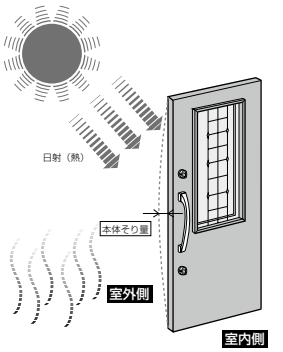
2. 窓シャッターについて

●シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタツキ、音がしたりすることがありますが異常ではありません。
●スラットの表面が、雨などに濡れている状態でシャッターを開閉操作すると、水滴が落ちてくることがありますので、静かに開閉してください。これはシャッターを巻き上げたとき、スラット同士が重なることで表面についた水が内側につく為です。
●シャッターを閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨があたった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので安心してお使いください。
●スラット重量と巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとる構造になっております。商品の特性上、バランス状態により開閉力が一定ではありません。
●開閉力は年月と共に重くなってきます。これは各部への砂、チリ汚れ等の付着や摩耗によるものです。
●シャッターを閉めても各部のすきまから、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテン等をご使用ください。

3. 二重サッシの雨水の浸入について

二重サッシで窓を閉める場合は必ず外窓、内窓両方を閉めてご使用ください。
外窓を開放し、内窓のみを閉じている場合に雨が降って枠に雨がかかりますと漏水がおきる危険性があります。

4. 断熱ドア・引戸の熱ソリについて



断熱ドアは室内外で熱を伝えにくい構造としてあるため、直接、日差しがあたるなど室内外の温度差によってはドアの本体にソリが発生する場合があります。（最大ソリ発生量は4～5mm）
このソリは、日差しの角度がかわるなど、表面の温度差が小さくなると元に戻るので、ドアの不具合ではありません。
本体のソリが発生してドアが閉まりにくい、又はすき間が発生して気になる時は、ストライク（錠受け金具）、ドアクローザツボでの調整にて対応をお願い致します。
ストライク（ラッチ受部）の調整方法…P.31
ドアクローザの調整方法…P.29～31
ツボの調整方法…P.32

5. 玄関ドア・引戸などからの雨水浸入について

強風雨時、玄関ドア・玄関引戸または勝手口ドア・勝手口引戸から雨水が浸入することがあります。
玄関はポーチ屋根により通常の風雨を防げること、玄関は居室と違い土間がタイルなどで仕上げられ、濡れても問題ではなかったことなどから、玄関および勝手口（土間納まり）の出入り口に使用されるドア・引戸には、居室に使用されるサッシと同等の水密性能は要求されていません。また、ドア・引戸の施錠機構は、サッシに採用されているような、枠と障子を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。
玄関のポーチ屋根の大きさ、勝手口の庇の有無などにより、強風雨時にドア・引戸の枠と本体の隙間、ガラスやパネルの額縁廻りから雨水が土間に入ることがありますが、製品の不具合ではありません。

6. 玄関ドア・引戸からの音鳴り現象について

玄関ドア・引戸に太陽光が当たると、パキパキ、ギシギシ、コーンなどの異音が発生することがまれにあります。
これは、玄関ドア・引戸は窓に比べて商品を構成している部材数が多く、また、その表面積も大きいために、太陽光を直接受けて温度上昇が生じる室外側と太陽光を受けない室内側とで表面の温度差が生じやすく、この温度差に伴う熱膨張の差で生じる室内外面のわずかなゆがみと、たて横の大小の構成部材間で異なる熱膨張とが重なって生じる摩擦により異音が発生することがあります。
このような音の発生現象は、特に春先や秋口など外気温が低い時期に、玄関に陽が当たるとまれに発生することがありますが、立地条件や季節、使用材料の特性（熱伸び率の差）などの違いにより起きる不可抗力現象であり、ドア・引戸の不具合によるものではなく、また必ず発生するものでもありません。音は陽が高くなって外気温が上がったり陽がかげったりすれば、自然にやみます。

7. 玄関ドア・引戸の表面温度について

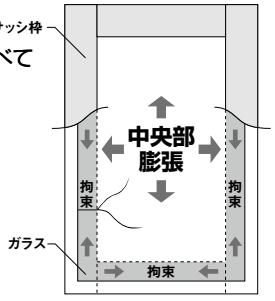
商品をご使用中、ドア・引戸全体が熱くなることがありますが、これは玄関ドア・引戸全体に長時間直射日光があたり、表面温度が上昇することで発生します。
特に、ブラック・オータムブラウンなどの色の濃い商品ほど表面温度が上昇しますので、直射日光が強い時間帯はヤケドをする恐れがありますので、開閉の際はご注意ください。

8. ガラスの熱割れについて

窓にはめ込まれたガラスが太陽光があたることにより、その熱で割れることがあります。これを「熱割れ」と呼んでいます。窓ガラスに直射光を受けると、照射された部分は吸熱のため高温となり膨張します。一方、周辺のサッシにのみ込まれた部分や、影の部分はあまり温度上昇せず、低温のままとなります。この低温部は高温部の熱膨張を拘束し、結果としてガラス周辺部に引張応力が発生します。この熱応力は被照射部と周辺部との温度差、すなわち板内温度差に比例し、ガラスのエッジ強度をこえる引張応力が発生すると熱割れとなります。ガラスにひび割れが発生したら、すみやかに、ガラス交換を行ってください。

●熱割れの防止

- **室内側に熱だまりができ、ガラスが高温となるような部位への取り付けは避けてください。**
- **ガラス面への日射が均一でなく部分的に日陰ができるとガラス板内の温度分布が変わり、影のない場合に比べて発生熱応力が大きくなり、熱割れが発生しやすくなります。このような部分への取付けは避けてください。**
- **冷暖房の吹き出し空気や熱を直接ガラスに当てたり、強い照明を当てたりしないでください。**
- **ガラス面に紙やフィルムを貼ったり、ペンキを塗ったりしないでください。**
  その部分の日射吸収率が極端に大きくなります。
- **室内側にカーテンやブラインド、その他の遮蔽物を密着させないでください。**
- **網入り板ガラスは、金属網がガラスに封入されているため、切断時にガラスの切り口にキズが付きやすく、許容応力が一般の板ガラスの半分程度になっているため、熱割れがより起こりやすくなります。**



第7章 アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので**「■商品保証について」**の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。
修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検及び修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店または当社「部品修理ご相談センター 」にご相談ください。
その際、下記のことをご連絡ください。

①ご住所・お名前・電話番号
②商品名・品番
③ご購入日またはご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
④故障または異常の内容
⑤訪問ご希望日

お客様の個人情報の取扱い

お客様からお預かりした個人情報は、商品の点検及び修理にのみ利用し管理いたします。
なお、修理に携わる協力会社へお客様の個人情報を開示することがありますが、当該協力会社は、お客様の個人情報の利用に関して当社と同等の義務を負います。

点検及び修理の依頼先

・お求めの取扱い店
・製品に表示している連絡先
・トステム(株)お客様相談室 部品・修理ご相談センター　ナビダイヤル 0570-050-095
※PHS、携帯電話のお客様 Tel 03-3638-8050

点検及び修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検及び故障個所の修理及び部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。
なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持する為に必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後 10 年です。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後 2 年としております。
2 年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし 2 年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
トステムパーツショップ　http://partsshop.tostem.co.jp/shop/

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店または当社部品修理ご相談センターにご連絡ください。

第8章 商品の保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にご相談ください。

■ 対象商品　　サッシ・ドア商品

■ 保証期間　　施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）
但し、商品からの雨水浸入については10年間とします。
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■ 保証内容　　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項　　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
④商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）
又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合
又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）
⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にお問合わせください。

お客様メモ

●ご購入の際、記入しておかれますと便利です。

施工完了日	年　　月　　日
施工・工務店	社名 Tel　　ー　　ー
販　売　店	社名 Tel　　ー　　ー
お近くの当社営業所	支店・営業所 Tel　　ー　　ー
商品名	

メ　モ

■商品についてのお問い合わせ、ご相談は
施工・工務店、販売店または当社商品相談窓口にお問い合わせください。

販売店･工務店･建設会社の皆様へ

この取扱い説明書は施工後、お施主様へお渡しください。